

社会福祉法人夢の森福社会広報誌

【第7号】



●発行/社会福祉法人夢の森福社会「ゆめ」編集委員会
 栃木県日光市大沢町274
 TEL.0288-32-2280 FAX.0288-32-2281
 メールアドレス yumenomori1@ap.wakwak.com
 詳しくはホームページをご覧ください

●今月の題字/渡邊 佳子さん
 ●印刷/有三興社

理事長就任にあたって



社会福祉法人夢の森福社会
 理事長
 小林 幸正

この度、私、小林幸正は理事長としてお世話になることになりました。急転直下の出来事で、正直大変戸惑っており不安も大きいのですが、皆様のご理解とご支援により何とか務めを果たしていかなくてはと考えておりますので、どうぞよろしくお願いたします。

「人と人と、心豊かに 共に生きてあることを 共に生きて輝くことを」これは平成十五年度、夢の森福社会の創設者

から多くのことを学ばせてもらって以来のお付き合いであり、退職されてから本福社会立ち上げに奮闘される姿に胸を打たれたものでした。またこの地は、新任教師としてスタートした中学校の所在地であり、これも不思議なつながりを感じます。

そうしたこともあり、本会には評議員や理事として側面から協力させていただけでした。

このように現職時代から、不登校生徒のための専門学級経営、就学前後の保護者との就学相談、特別支援学級設置校長研修など、特別支援教育推進に関わる分野を担当する機会が多かったのも、感化があったように思います。

退職後は、栃木県総合教育センター嘱託員として各種研修に携わり、その後、栃木県特別支援教育手をつなぐ親の会事

務局長として八年目が経過しています。特別支援教育推進に関わるこれらの経験は、いま急務とされる社会福祉法人の地域の公益的な取組の責務を考えるための貴重な下地になった気がします。

これまでに積み重ねられてきた輝かしい業績を汚すことのないよう、微力ながら努めていきますが、社会福祉事業についてはほとんど知らないことばかりです。つきましては、皆様からのご指導ご鞭撻を心よりお願いする次第です。

本会のみならず多くの福祉会は、いま時代や取り巻く環境の変化により、いくつかの課題に直面しているように思われます。福祉会の取り組みは、当たり前から思われることの地道な積み重ねが最も大切なことでありましょう。派手なパフォーマンス等はなじまず、日ごろの平穩無事をどのように確保し維持していく

かを最優先すべきで、しかも最も困難な課題であり、利用者の方々から信頼を得る決め手でありましょう。またその実践には、様々なこととのバランスや優先順を決めて取り組まなければなりません。そうした中で、いま私が置かれた状況並びに本会全体が心すべきことを列記すると、

○日々課題対応力の向上
 ○組織の強化
 ○各分掌の機能強化

があげられるでしょう。そして、そのための対応策を早急に検討し、実践していきたいと思えます。また、そのためには、職員間のコミュニケーションが不可欠であり、「報・連・相」の励行は欠かせないことを、肝に銘じております。



施設長就任にあたって



社会福祉法人夢の森福社会
 事業所 施設長
 中島 久男

この度、平成二十九年七月二十二日付けで、施設長に就任することになりました。どうぞよろしくお願ひ申し上げます。

夢の森福社会の事業が開設された平成十五年。私は、社会福祉法人すぎなみき会に入職し、出向した日光広域障害者相談支援センターのコーディネーターとして、夢の森と出会いました。当時から、私自身色々と感じることがありましたが、また夢の森利用者様や利用者御家族様から、そして勤務している職員からも、実情を改善するための相談を受けていました。

利用者様と利用者御家族様の、将来の生活の安心と、日々の出来事の喜び。地域に根ざした施設。皆様のご理解とご支援を受け、職員全員が一丸となり、努力して参ります。

理事長

評議員会 理事会 監査

夢の森

指定特定支援センター ドリーム

総務

障害福祉サービス事業（通所系）

- ・就労移行支援（定員 10名）
- ・就労継続支援B型（定員 15名）
- ・生活介護（定員 35名）



- ・指定特定相談支援事業
- ・指定障害児相談支援事業

法人本部

日光市地域生活支援事業

- ・日中一時支援
- ・移動支援



昼食づくり（夢ホーム）



りんご狩り（夢の森）



音楽レクリエーション（夢の森）



カルフルとちぎ見学（夢の森）



みんなで大合唱！

いつもご招待ありがとうございます☆



森友地区レクリエーション（夢ホーム）



後援会・利用者家族の会協賛
夢フェスタ2016（全体）



肢体不自由児者父母の会
年末おたのしみ会（夢の森）



ふれあいの集い（夢の森）



宇都宮動物園 外出（夢ホーム）



奥日光散策！

イオン様からプレゼントをいただきました♪

4名の方、おめでとうございます！



クリスマス会（夢の森・夢っ子）



防災訓練（夢の森）



成人・還暦を祝う会（夢の森）

いつも、おいしいうどんをありがとうございます！！



手作りチョコ（夢ホーム）



うどん打ち体験（夢の森）



節分まめまき（夢ホーム）



鬼怒川温泉足湯（夢ホーム）

平成29年度 組織表

社会福祉法人夢の森福祉会

第三者委員

後援会
利用者家族の会

夢ホーム

夢っ子

障害福祉サービス事業（居住系）

障害児通所支援事業（通所系）

- ・第一夢ホーム（グループホーム）
共同生活援助（定員6名）※7/1～
短期入所（定員4名）※7/1～

- ・第二夢ホーム（グループホーム）
共同生活援助（定員5名）※7/1～
短期入所（定員3名）※7/1～

- ・放課後等デイサービス（定員10名）



お天気に恵まれて満開の桜や季節の花を楽しめました！

お花見（夢の森）



大沢中運動会見学（夢の森）



うたって、踊って、たのしいひととき！



お散歩（夢ホーム）



防災体験（夢ホーム）



開設記念（夢の森）

夢っ子 元気いっぱい！なつやすみだ～！



家族の会 奉仕作業（夢の森）



大沢地区ふれあい交流会（夢の森）



大笹牧場遠足（夢っ子）



障害者スポーツ大会（夢の森）



花火（夢ホーム）



七夕（夢っ子）



ホットケーキ作り（夢っ子）



開設15周年を迎えて

私は夢の森福祉社会設立当初から勤めており、夢の森福祉社会とともにこの15年を歩んできました。今15年間の歩みを振り返ると、そこにはいつも暖かく見守ってくださる御家族の皆様、後援会の皆様、理事、評議員の皆様、学校職員の皆様、地域の皆様のご協力があつたことを実感し、感謝の気持ちでいっぱいです。

社会福祉施策は変化し続け戸惑うこともありましたが、「夢っ子」の職員として子供達がどうしたらこれからの人生を豊かに暮らしていけるのか先を見据えた視点に立ち、いろいろな取り組みをしてきました。また子供達が誰ひとり嫌な思いをすることなく安心して楽しく過ごすことが出来る場を提供することを常に心掛けてきました。そしてこれからも15年前に出会った「この子らを世の光に」という言葉を胸に、この世にひとりしかいない大切な存在である利用者の皆様が大きな夢と希望を持って成長していけるよう全力で応援していきたいと思ひます。



社会福祉法人夢の森福祉社会
放課後等デイサービス事業所
夢っ子 主任 大橋 一重

夢の森にお世話になり四年目を迎えて

娘、恵実は、地域の小学校、支援学校の中学部、高等部を卒業後、今の夢の森にお世話になり、早いもので四年目になります。

学校と就労とでは内容も異なり、一年目は本人も親も戸惑いました。泣くこともありましたが、職員さんに話を聞いて頂いたり、アドバイス頂いたり、今では夢の森に行く事も、仕事をすることも、色々な人と話をする事も楽しいと、笑顔でバスに乗り、「ただいま」と元気に帰って来る事が殆どです。そういう姿を見る事が親として嬉しいし安心します。

色々な障害を抱えながらも、皆頑張っている姿を見る度、私も見習わなければと思ひます。夢の森へ行く事を楽しみにしている子供達の笑顔が、いつまでも続く事を願ひます。

その為にも職員と家族との協力は大切だし、親が老いていく中、夢の森なら安心して任せられると言えるよう、願っております。



社会福祉法人夢の森福祉社会
利用者家族の会 役員 岸本 智子

開設15周年の節目という縁

今年の大型連休前、後援会会長への打診がありました。様々な公職にもありますが、「ハイ喜んで」とお引き受け致しましたが、「社会福祉法人」の活動は外から見ているだけで中身は全く分かっておりません。唯一、ライオンズクラブ国際協会（今市LC）に所属いたしてあり、社会奉仕に関してはひたすらに「我々は奉仕する！」の精神で活動しております。現在は333複合地区（栃木・新潟・群馬・茨城・千葉）の外国の青少年との交流活動の役員として特に活動しております。

「社会福祉法人夢の森福祉社会」の活動については何も分からない者ですが、皆様のご指導をいただいで夢の森をより上質の高みに向かって充実していただきますよう下支えとなって参りたいと思ひます。

15周年目に後援会会長に就任いたしますことには何かの縁を感じております。よろしくお願ひ申し上げます。



社会福祉法人夢の森福祉社会
後援会 会長 西岡 一明

元気、わくわく 夢フェスタ

「この子達、学校を出てから就業につながるかが、大変なんです。」きめ細やかな支援児教育の先を案じる担任の言葉です。安心して社会に出せる継続的な自立支援のしくみ、障害を持つ生徒の卒業後の就労支援施設の充実、受け入れ事業所の拡大、日常のサポート体制の充実等、課題は山積みでした。

夢の森福祉社会理事長の障害者の自立支援に向けた崇高な取り組みは、早くから地域社会に障害者福祉への重要性を示唆し、また多くの児童生徒、障害を持つ方、ご家族様に希望をもたらし、安心した生活を確保しました。

少子化の現代、個々の対応も多様化され、日常業務も複雑化されつつあります。夢の森は個性豊かなでき事も、ほっと包み込む温かさがいつも流れています。

ご家族様はじめ地域の皆様、後援会の皆様のゆるがぬ母体があることを伺いました。微力ながら仲間入りさせていただきます。「元気わくわく夢フェスタ」よろしくお願ひします。



社会福祉法人夢の森福祉社会
後援会 副会長 根本 広子

夢の貯金箱自動販売機設置のお知らせ

このたび、夢ホーム敷地内に10円で出来る社会貢献自動販売機「夢の貯金箱」を設置しました。社会貢献自動販売機「夢の貯金箱」は、飲料1本につき10円が社会貢献プロジェクトに寄付される自動販売機です。飲料を「飲んで参加」、寄附者が事業を「選んで参加」、事業に「リアルに参加」をキーワードに、社会課題の解決にみんなで参加できる自動販売機になります。



施設内整備のお知らせ



夢の森 職員駐車場をアスファルトに施工しました。



夢の森玄関に1台、夢ホーム玄関を含め3台、防犯カメラを設置しました。

日本財団福祉車両助成事業完成のお知らせ

このたび公益財団法人 日本財団から、平成28年度福祉車両助成金の交付を受けて、下記の事業を完了いたしました。

ここに事業完了のご報告を申し上げますとともに、公益財団法人日本財団をはじめ、ご協力賜りました関係者の皆様に謹んで感謝の意を表します。

事業名 2016年度 日本財団「福祉車両助成」事業
整備車輛 送迎車（軽自動車）/ホンダN-BOX
補助金額 630,000円
実施場所 栃木県日光市大沢町274番地
社会福祉法人夢の森福祉社会 夢の森

完了年月日 平成29年3月27日

社会福祉法人夢の森福祉社会
理事長 千代田 進



公益法人日本財団の福祉車両の助成事業を受けて、新たに送迎車（軽自動車）の車輛を整備いたしました。これで今まで以上に多くのご利用者様に当施設を利用していただくことが可能になりました。

平成28年度 事業実績／決算報告

「人と人と 心豊かに 共に生きてあることを 共に生きて輝くことを」を基本理念とし、平成27年度の課題を踏まえ、利用者の尊厳を保持し利用者に対するサービスの向上や充実、家族との信頼関係の確立に繋げていける施設運営に努めました。また、社会福祉法等も一部改正され、障害福祉サービス等の制度・運用面に関する課題を検討しながら、障害福祉サービスの利用者が多様化している中で、良質なサービスの確保・向上を図る取組み、情報の透明性の確保や適正な執行の確保に努め、充実した援助・支援を目指して日々の実践に取組み、施設経営のより一層の充実と安定に努めました。

●理事会開催状況

| | |
|-----|-----------------|
| 第1回 | 平成28年 5月27日 (金) |
| 第2回 | 平成29年 1月20日 (金) |
| 第3回 | 平成29年 3月 1日 (金) |
| 第4回 | 平成29年 3月24日 (金) |

●法人役員(平成29年7月22日現在)

| 【理事】 6名 | 【評議員】 7名 | 【監事】 2名 |
|---------|----------|-----------|
| 小林 幸正 | 東野 孝志 | 栗田 春幸 |
| 峯山 敏正 | 塩谷 つる代 | 小島 幸容 |
| 鷹 鸞 平一郎 | 柿崎 龍夫 | (順不同、敬称略) |
| 柳田 喜恵子 | 高橋 完司 | |
| 星野 保治 | 秋澤 芳美 | |
| 中島 久男 | 杉田 育男 | |
| | 津久井 秀一 | |

●評議員会開催状況

| | |
|-----|-----------------|
| 第1回 | 平成28年 5月27日 (金) |
| 第2回 | 平成29年 1月20日 (金) |
| 第3回 | 平成29年 3月24日 (金) |



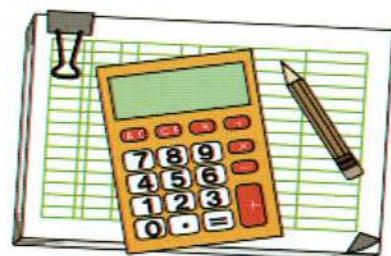
●平成28年度 決算財務諸表(法人全体)(単位/円)

◆財産目録

| | |
|----------|-------------|
| 流動資産 | 194,937,555 |
| 基本財産 | 238,758,012 |
| その他の固定資産 | 62,918,778 |
| 資産の部合計 | 496,614,345 |
| 流動負債 | 17,263,005 |
| 固定負債 | 34,575,338 |
| 負債の部合計 | 51,838,343 |
| 差引純資産 | 444,776,002 |

貸借対照表

| | |
|-------------|-------------|
| 流動資産 | 194,937,555 |
| 固定資産 | 301,676,790 |
| 資産の部合計 | 496,614,345 |
| 流動負債 | 17,263,005 |
| 固定負債 | 34,575,338 |
| 負債の部合計 | 51,838,343 |
| 基本金 | 84,058,750 |
| 国庫補助金等特別積立金 | 114,356,593 |
| その他の積立金 | 340,236 |
| 次期繰越活動収支差額 | 246,020,423 |
| 純資産の部合計 | 444,776,002 |
| 負債及び純資産の合計 | 496,614,345 |



◆資金収支計算書

| | | |
|-----|----------------|-------------|
| 収 入 | 就労支援事業収入 | 2,485,685 |
| | 障害福祉サービス等事業収入 | 175,370,351 |
| | 経常経費寄附金収入 | 2,000 |
| | 受取利息配当金収入 | 5,393 |
| | その他の収入 | 1,830,200 |
| | 事業活動収入計 | 179,693,629 |
| 支 出 | 人件費支出 | 105,145,736 |
| | 事業費支出 | 19,652,714 |
| | 事務費支出 | 13,086,423 |
| | 就労支援事業支出 | 3,597,125 |
| | 支払利息支出 | 633,370 |
| | その他の支出 | 1,553,203 |
| | 事業活動支出計 | 143,668,571 |
| | 事業活動資金収支差額 | 36,025,058 |
| 収 入 | 施設整備等補助金収入 | 630,000 |
| | 施設整備等寄附金収入 | 410,000 |
| | 施設整備等収入計 | 1,040,000 |
| 支 出 | 設備資金借入金元金償還支出 | 5,059,552 |
| | 固定資産取得支出 | 8,246,540 |
| | その他の施設整備等による支出 | 483,569 |
| | 施設整備等支出 | 13,789,661 |
| | 施設整備等資金収支差額 | ▲12,749,661 |
| 収 入 | 積立資産取崩収入 | 116,760 |
| | その他の活動による収入計 | 116,760 |
| 支 出 | 積立資産支出 | 1,047,388 |
| | その他の活動支出計 | 1,047,388 |
| | その他の活動資金収支差額 | ▲ 930,628 |
| | 当期資金収支差額合計 | 22,344,769 |
| | 前期末支払資金残高 | 160,948,170 |
| | 当期末支払資金残高 | 183,292,939 |

◆事業活動計算書

| | | |
|-----|----------------|-------------|
| 収 益 | 就労支援事業収益 | 2,485,685 |
| | 障害福祉サービス等事業収益 | 175,370,351 |
| | 経常経費寄附金収益 | 2,000 |
| | サービス活動収益計 | 177,858,036 |
| 費 用 | 人件費 | 106,069,328 |
| | 事業費 | 19,652,714 |
| | 事務費 | 13,086,423 |
| | 就労支援事業費用 | 3,597,125 |
| | 減価償却費 | 14,386,032 |
| | 国庫補助金等特別積立金取崩額 | ▲5,842,717 |
| | サービス活動費用計 | 150,948,905 |
| | サービス活動増減差額 | 26,909,131 |
| 収 益 | 受取利息配当金収益 | 5,393 |
| | その他のサービス活動収益 | 1,830,200 |
| | サービス活動外収益計 | 1,835,593 |
| 費 用 | 支払利息 | 633,370 |
| | その他のサービス活動外費用 | 1,553,203 |
| | サービス活動外費用計 | 2,186,573 |
| | サービス活動外増減差額 | ▲350,980 |
| | 経常増減差額 | 26,558,151 |
| 収 益 | 施設整備等補助金収益 | 630,000 |
| | 施設整備等寄附金収益 | 410,000 |
| | 特別収益計 | 1,040,000 |
| 費 用 | 国庫補助金等特別積立金積立額 | 630,000 |
| | 特別費用計 | 630,000 |
| | 特別増減差額 | 410,000 |
| | 当期活動増減差額 | 26,968,151 |
| | 前期繰越活動増減差額 | 219,059,308 |
| | 当期末繰越活動増減差額 | 246,027,459 |
| | 基本金取崩額 | 0 |
| | その他の積立金取崩額 | 116,760 |
| | その他の積立金積立額 | 123,796 |
| | 次期繰越活動増減差額 | 246,020,423 |

社会福祉法人夢の森福社会の沿革

*目的・理念

「人と人と 心豊かに 共に生きてあることを 共に生きて輝くことを」を基本理念とし、多様な福祉サービスがその利用者の意向を尊重して総合的に提供されるよう創意工夫することにより、利用者が個人の尊厳を保持しつつ、自立した生活を地域社会において営むことができるよう支援する施設経営を目的とする。

| | | |
|--------------|-----|--|
| 1996 (平成 8年) | 6月 | 在宅重度心身障害者デイケアホーム【夢の森】開所 後援会の設立 |
| 1999 (平成11年) | | 学童保育事業の開設 (県単事業) |
| 2002 (平成14年) | 7月 | 社会福祉法人設立登記 |
| 2003 (平成15年) | 4月 | 措置費制度より支援費制度 (利用契約制度) に移行 「保護者会」を「利用者家族の会」に変更 知的障害者通所授産施設【夢の森】開所 (定員30名) 心身障害者デイサービスセンター【夢の里】開所 (定員15名) |
| 2003 (平成15年) | 6月 | 【夢の森】、【夢の里】竣工式 |
| 2003 (平成15年) | 7月 | 社会福祉法人夢の森福社会後援会設立 日中一時支援事業【夢っ子】開設 (日光市地域生活支援事業) |
| 2012 (平成24年) | 2月 | 新事業体系に移行 障害福祉サービス事業所【夢の森】 (多機能型) 就労移行支援事業 (定員10名) 就労継続支援B型事業 (定員15名) 生活介護事業 (定員25名) 一体型指定共同生活介護事業【夢ホーム】の開設 (定員6名) |
| 2014 (平成26年) | 6月 | 【指定特定相談支援センタードリーム】の開設 指定特定相談支援事業 指定障害児相談支援事業 |
| 2014 (平成26年) | 10月 | 障害福祉サービス事業所【夢の森】定員の変更 (就労移行/10名、就労継続B型/15名、生活介護/35名) |
| 2017 (平成29年) | 4月 | 共同生活援助事業 (介護サービス包括型)、短期入所事業【第2夢ホーム】の開設 (定員: 共同生活援助/4名、短期入所/4名) |



「夢フェスタ2017」ボランティア募集!!



バザー品・夢くじ景品募集!!



平成29年11月19日(日)10時より「夢フェスタ2017」を開催する予定となっております。

夢フェスタは、夢の森福社会後援会と利用者家族の会が、利用者様と地域の方々との交流のできる楽しいお祭りとして毎年開催しております。みなさん、ぜひ遊びに来てください!

また夢フェスタをお手伝いして下さるボランティアさんや、バザー品・夢くじの景品を募集しております。ご協力くださいます方は、右記の夢の森福社会後援会事務局までご連絡ください。



後援会会員募集!

皆様の温かなご支援のおかげで豊かな活動ができます!

個人年会費(1口) 1,000円

団体年会費(1口) 5,000円

任意の口数でのご協力をお願い致します。



(社福) 夢の森福社会後援会事務局

〒321-2341 日光市大沢町274番地
TEL. 0288(32)2280 FAX. 0288(32)2281
E-mail: yumenomori1@ap.wakwak.com

担当: 斎藤・熊倉・山口

お忙しい中、会報ゆめの原稿にご協力くださった皆様どうもありがとうございました。

平成29年も気付けば後半戦! 毎日駆け足で過ぎていきますが、利用者様の笑顔には日々元気をいただいております! 表紙の「15th」は、開設15周年ということで利用者様と職員の顔写真を使ってモザイク画風にしてみました。編集しながら目がチカチカ。チカチカ。うーん、みんなの写真がまぶしすぎるっ!

(編集委員)